2016年9月24日　チーム神於山活動報告

2016.9.27
シャープ社友会
チーム神於山　真砂 記

■**活動日**：2016年９月24日（土）　９：00～12：00
■**参加者**：チーム神於山　正会員　９名
■**活動内容**
- 今回は、フクロウの巣箱づくりと「国見台」に繋がる尾根道の整備刈り込みに取り組み、時間があれば上部植栽地のチジミザサなどを刈る予定でしたが、参加された皆さんはフクロウの巣箱に思いが強いことからこれに専念しました。
- 結果、泉南地区では、岸和田市を含め天井に出入り口をあける「縦穴式」が主流ですが、シャープの森では、今年も過去３回営巣した実績のある横に出入り口を付ける「横穴式」にし、定番の丸型と少し横に広い楕円型の二つの巣箱を作ることにしました。
- ただ、観察用のウエッブカメラが見つからなかったこともあり、組み立て／取り付けは、10月に行うことになりました。
- 参加いただいた９名の会員の皆さん、お疲れ様でした。

■**今後の活動について**
- 次回10月８日（土）は、ウエッブカメラやカメラ観察に思いの強い岡森さんと金井さんが所用で参加できないことから、今回取り組めなかった国見台に繋がる遊歩道と上部植栽地の整備刈り込みに取り組み、巣箱の完成と取り付けは10月22日（土）に行う予定です。
- 10月からは、活動時間が９時半集合の10時～15時と長くなりますので昼食の楽しみが増えます。別途ご案内しますので奮ってご参加ください。

■**フクロウの巣箱づくり-1　「基本設計のすり合わせ」**　　ワイワイガヤガヤ　賑やかです。

設計のすり合わせでワイワイガヤガヤ。

- 前回（9月10日）の活動日には、基本設計者の金井さんと、板材調達者の香遠代表が所用で参加できなかったことから、10日に準備した素材と基本設計のすり合わせからスタート。
- 今回の巣箱は軽量化を目指し、基本は垂木のフレームにベニヤ板を木ネジで止めることにしていますが、強度の欲しい底板と出入り口を付ける正面だけはコンパネを利用することにしています。

■フクロウの巣箱づくり-２　「巣箱の入り口作り」　営巣の決め手になりますから真剣です。

入念に採寸・・・

決ればジグソーで穴開け。

■フクロウの巣箱づくり-３　「足掛かりの取り付け」　フクロウが巣箱から出るためのものです。

今年も足掛かり用の枝をセットし、底には雨水抜き用に無数の穴。フクロウは喜んでくれるでしょうか？

■フクロウの巣箱づくり-４　「仮組」　後日カメラを取り付けるため、側面２面は開けたままです。

底板の取り付け

出入り口のある正面パネルの取り付け

- 方向が決まれば後は手慣れたもので、作業は順調に進み、ほぼ形が見えてきました。
- 正面の板の内側に付けた「足掛かり」や、底板の「雨水抜きの穴」は人間が考えた工夫です。
- 特に「足掛かり」はフクロウが喜んで利用してくれたかどうか、確認する工夫が必要なようです。
- また、出入り口も形状を変えましたから、フクロウがどちらを選ぶか興味津々です。
- フクロウの棲む森づくりも“お楽しみはこれから”です。

■フクロウの巣箱づくり-５　「天板の工夫」　天板の軽量化とフクロウの怪我の未然防止の工夫。

薄い天板に蝶番を付けるため補強材を付け、天板と庇を止めた木ネジの出た部分にカバー付けました。

■フクロウの巣箱づくり-６　「ウエッブカメラの取り付け位置の検討」　実際にモニターしながら検討。

どの場所にどのように付けると良い情報が得られるかがポイントです。

活動頂いた９名のメンバーの皆さん　半完成の巣箱を前に一枚。お疲れ様でした。

- 巣箱の全体の大きさは従来通りですが、右の丸穴の直径は、昨年より１ｃｍ大きくなっています。
- 左は、それを少し横に広げたものです。
- 今年フクロウがどちらを選ぶかでまた方向が変わると思いますが、その前に、取り付ける木に付いて、同じ木の上下に付けるとか、背中合わせにするとか、やはり別の木にすべきとか、１０月２２日は喧々諤々しそうです。
これもまた楽しいですね。

以上